

産業構造審議会保安・消費生活用製品安全分科会火薬小委員会
第6回火工品検討ワーキンググループ
議事要旨

日時：令和元年9月12日（木曜日）14時00分～16時00分
場所：経済産業省 別館2階244共用会議室

出席者

新井委員、飯田委員、熊崎委員、中村委員、森田委員

議題

- (1) 電力ヒューズ（表示機能を有するもの）について
- (2) その他

議事概要

(1) 電力ヒューズ（表示機能を有するもの）について

（委員）

資料2のp.17にある通常点火試験のサンプルNo.4のみ移動速度が遅い理由は何か。

（説明者）

内部に充填されている火薬の薬量のバラツキによるものではないかと考えている。

（委員）

移動速度は遅いが、封入していた火薬は全て反応して通常通り作動したということの良いか。

（説明者）

その通り。

（委員）

資料1の「表示機能を有するもの」という表現について、表示棒を有しているAタイプについては理解できるが、表示棒のないBタイプも同じ表現でよいのか。

（説明者）

Bタイプは、ハリの押し出しが表示機能であると考えている。

（事務局）

Bタイプの場合も火薬の目的はあくまでも表示することであるため、このような表現としているが、適当でなければ再度検討したい。

(委員)

火薬の目的を記載しているのであればこのままでよい。

(委員)

資料2のp.11の気体回収について、サンプルNo.1の気体が回収できなかった理由は何か。

(説明者)

気体の回収に失敗したためである。

(2) その他

特になし。

お問合せ先

産業保安グループ 鉾山・火薬類監理官付

電話：03-3501-1870

FAX：03-3501-6565